○　校地

本学の校地は、主として、大阪府東大阪市西堤学園町３丁目１番地１号に位置し、近鉄奈良線「河内小阪駅」、大阪メトロ中央線「高井田駅」・「長田駅」、ＪＲおおさか東線の「高井田中央駅」等から歩いてほぼ 15 分のところにあり、京都・奈良、神戸等からも交通至便の地である。

表 2-9-1　土地用途別面積（㎡）

地　番	地番面積			
西堤学園町３丁目１番１号	49,980.00			
西堤学園町３丁目 392 番２号	6.61			
御厨西ノ町２丁目 63 番１号	3,673.00			
御厨西ノ町２丁目 50 番５号	33.05			
御厨西ノ町２丁目９番１号	126.00	大　学	短　大	大学短大計
校 地 総 面 積	53,818.66	9,519.68	12,164.03	21,683.71
校舎敷地	9,875.42	1,912.37	2,443.59	4,355.96
運動場	17,642.97	1,532.94	1,958.75	3,491.69
学生寮	730.57	320.74	409.83	730.57
その他	25,541.90	5,753.63	7,351.86	13,105.49

表 2-9-2　校地・運動場・校舎の面積（㎡）

	設置基準面積		面積	
	大学	短大	大学	短大
校　地	3,600.00	4,600.00	9,519.68	12,164.03
運動場　※	―	―	(1,532.94)	(1,958.75)
校　舎	3,172.80	4,950.00	7,542.25	9,388.23

※印(　)はうち数

○　校舎

本学、大学と短期大学部の校舎は、全部で５棟（1・3・4・8・9 号館）ある。

１号館はキャリアサポートセンター・ラーニングコモンズ・更衣室・ロッカー室等を設置し、学生は自由に利用している。２階には中教室（120 名収容）と大教室（160 名収容）があり、多人数を対象とした授業に対応している。３階には体育館フロアがある。

３号館１階には、学生食堂があり、２階には体育館フロアがある。

４号館は図書館棟で、１階は図書閲覧室と書庫、２階は図書閲覧室となっており、３階に留学生たちのサロンとしても利用できる国際交流センターがある。また、大学・短期大学部教員の研究室がある。

８号館には、3・4 階に大講義室(424.25 ㎡)があり、５階に法人事務局がある。大学の事務局本部は８号館の２階に集約され、教学支援部・学生支援部・入試広報部・総務部等、学生は１ヶ所で対応が出来るようになっている。

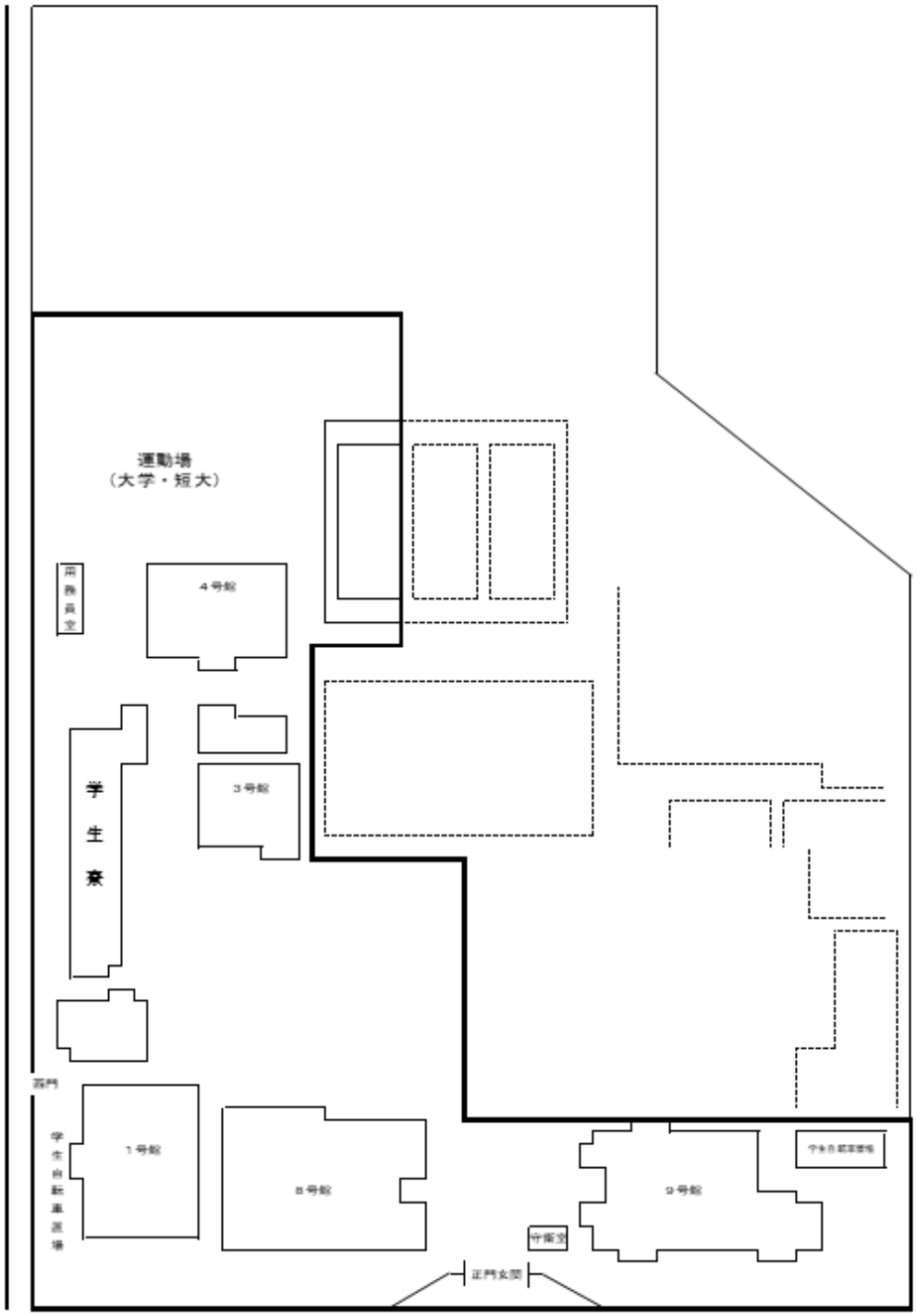
９号館には、１階に学生ホール、保健室、２階にこども研究センターと各教室、３階に就職支援室、４階に音楽室や美術室が並ぶ芸術関係の実習教室、5・6 階にゼミ室等、７階に短期大学部の

調理関係の実習室がある。なお、7 階には学生相談室がある。教員の研究室は、主に 8 号館 8 階と 9 号館 5 階にある。

身障者への対応については、すべての校舎において車いすで入館できるようになっており、4・8・9 号館にはエレベータが設置されている。

校舎各階には、避難経路が掲示されている。

キャンパス全体図



○　体育・福利厚生施設

本学の体育施設は大学・短期大学部共用で、1 号館 3 階 131 教室(583.40 ㎡)及び 3 号館 2 階 321

教室(403.07 ㎡)がある。放課後等は学内クラブ活動での使用、外部団体の体操クラブへの貸与等を行っている。

また、屋外にはステージ、芝生スペースも確保している。8 号館 6 階にある屋上庭園は、本学のユニークな空間として学生に開放されており、大阪市内が一望でき、学生にとっての憩いの場所として利用されている。

その他、1・8・9 号館の各 1 階には学生ホールの名称で自習等ができるオープンスペース（アクティブラーニングスペース）があり、それぞれ飲料自動販売機を設置し、学生は自由に使用できるようになっている。また、無線 LAN も使用できるよう整備している。

○　学生食堂

本学の学生食堂は 3 号館の 1 階(256.80 ㎡)にある。図書館、学生寮に隣接し、利用しやすい立地条件となっている。昼食時等には、学生や教職員の利用で賑わっている。

また、昼食だけでなく寮生の朝食・夕食も提供している。業務は外部業者に委託し、栄養面、価格の面で学生の要望に応えられるよう努力している。

○　学内コンビニエンスストア

学内に学生待望のコンビニエンスストアを併設校である東大阪大学敬愛高等学校と連携して設置している。

設置場所は、高等学校の施設である記念館の 1 階をコンビニとしての商品を揃え、カフェコーナーを設置する等、学生が憩いの場としても利用できるようにした。

○　図書館

（1）概要

本学図書館はキャンパスの４号館に位置し、教員の教育と研究活動及び学生の勉学を支援し、設置学部・学科に即して各種資料の収集と整理を行っている。図書種別では、学部学科設置上の性格から、教育、特に保育・初等教育関連のものを所蔵し、栄養、福祉関連の書物がそれに続いていたが、2011 年 4 月にアジアこども学科の開設を迎え、現在に至るまで人文社会関連文献・アジア歴史資料の収集にも力を入れてきた。

本学の特色である「こども学」の発展に貢献するため、本学図書館初のアンデルセンコレクション（作品別各国語絵本の収集）の構築に 2008 年から着手し、図書館としての特色の一つを創り出すと同時に、学生に異文化に直接触れる機会を提供し、グローバル視点から「こども学」に対する理解を深め、勉学・研究の意欲を高めることを狙ってきた。今後特筆すべき貴重な研究資源となることを目指している。現在既に日本語をはじめ 35 か国・地域、25 言語数の 416 冊を集め、図書館棟１階のロビーに展示ケース二台を設置し、比較の角度から作品と作者の紹介を行っている。

（2）施設

① 総延面積 903.40 ㎡
　閲覧室 603.20 ㎡、 書庫 241.40 ㎡
② 閲覧座席数 116 席
③ ＡＶ視聴ブース （１人用） ４席
　→ １人用のブースでヘッドホンを増設して 2 人で視聴すること可能

機器 DVD プレーヤー：４台、VHS ビデオ：２台

④　蔵書収容力約 5 万冊（2026 年 3 月 31 日現在収蔵図書総冊数 88,275 冊）

⑤　資料検索用端末　２台　　インターネット用端末　４台

⑥　複写機（利用者用）：１台（白黒、カラー）　　（事務用）：１台

⑦　マイクロフィルム資料閲覧用マイクロフィルムリーダー　１台

（３）購入図書等選定システム

教職員と学生の購入リクエスト、年２回の学生選書ツアー、図書館員が授業内容及び教員指定参考書による選書等を以て購入図書を選定する。また、特色ある大学図書館の創出を目指し、独自の蔵書方針も定め、辞書・事典類及び各学科の専門に関する資料収集とコレクション構築に特に力を入れてきた。

学生からの購入希望図書は、図書館で適切と判断したものについては、学習・研究支援という観点から、高価なものであっても極力購入している。

（４）図書等廃棄システム

保存期間２年間と定められている購入雑誌に関しては、諸手続きを行った後、教職員・学生へのリユースに供している。主に学生に提供。

（５）司書数等

司書資格を有する職員１名、館長は専任教員がそれを兼務する。

（６）情報化の進捗状況

平成 19 年度に、ローカルシステムとして「CARIN」を導入し、国立情報学研究所（NII）が構築する学術情報システムに参加すると同時に、同システムでの資料の発注・受入・登録・閲覧・相互利用などの各業務を開始した。翌年に Web 上での OPAC 利用を開始し、OPAC、商用データベースの利用、新着資料案内など各種図書館サービスのプラットホームとしてホームページを位置づけ、情報の更新と機能の向上に努めている。現在「マイ・ライブラリー」機能も追加し、Web 上での貸出資料情報の確認、資料の予約・相互利用の申込などが可能になった。

2015 年 4 月より更なる情報化を進めるため、クラウド上で動作する図書館システム「BABEL」を導入し、利用に供している。

また、学生が利用できるノートパソコンを用意している。インターネットの他、マイクロソフト・オフィスのシリーズも使用が可能である。プリンターも設置しており、学生に無料で供している。

図書館蔵書数一覧（2026 年 3 月 31 日現在）

区　分	和書	洋書	雑誌	AV 資料
冊（種）	81,353 冊	6,922 冊	621 誌	3,776 点

（７）資料の整備状況

主として、図書館棟の４号館２階に参考図書、一般図書と雑誌を配置し、新着図書コーナー、学生選書コーナーを設けている。比較的利用頻度の少ない図書、複本、紀要、製本雑誌を３階資

料室及び１階書庫（いずれも閉架式）に保存し、希望に応じて出納して利用に供している。また、コレクション資料は１階ロビー展示ケースおよび２階展示コーナーにて紹介している。

開架資料数（2026 年 3 月 31 日現在）

区分	参考図書	一般図書	合計	AV 資料
冊数	2,6011	40,413 冊	43,024 冊	2,375 点

（８）開館状況、利用者数および利用状況

①開館日数及び開館時間

開館日数（2025 年度）：191 日

開館時間：平日 9 時～17 時 30 分　学休期 9 時～17 時

②利用者数および利用状況

利用者数（2025 年度）：1,342 名

利用状況（2025 年度）：貸出 719 冊（図書・雑誌）

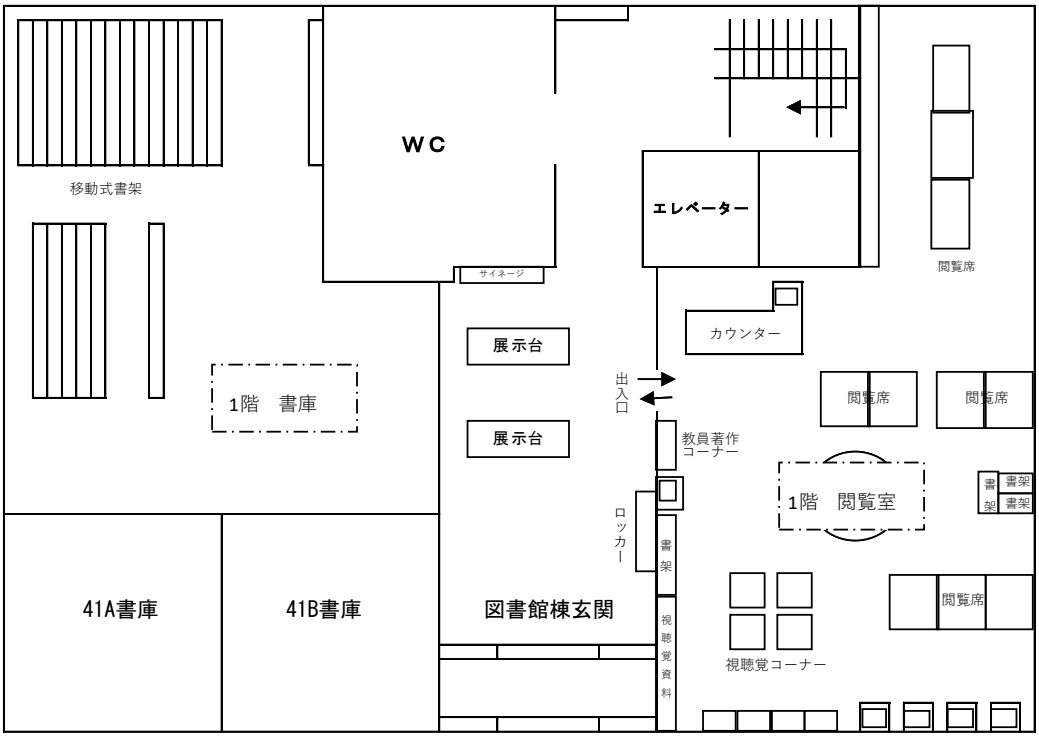
・AV 資料 に関しては、学生に対する貸出は行っていないが、１階閲覧室のブースにて視聴可能である。

・蔵書数が多くないことを考慮して、通常の貸出冊数と期間は５冊と２週間としているが、夏休み等の長期休暇時、実習期間中及び卒論執筆時については、特別貸出制度を設け利用者の便宜を図っている。本学図書館にない図書資料等については、図書館間相互利用制度により他大学の図書館などから取り寄せている。

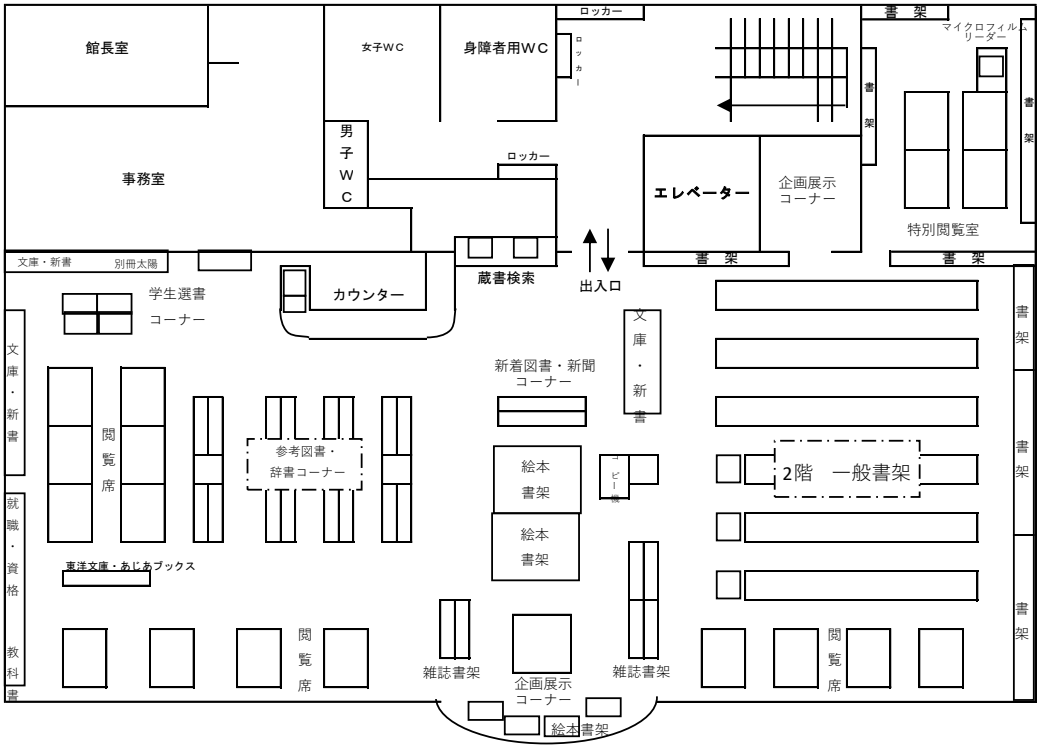
（９）図書館年間定例イベントと広報

図書館通信「螢窓」（教職員及び学生に配布）と共に、独自のホームページをもって開館スケジュール､図書館主催の行事､提供できるサービス及び図書館に関する各種データを発信している。そのほか、図書館では学生向けの読書イベントとして、学生選書（年２回)、読書感想文コンクール（年１回）を行っている。

図書館案内図　1階



図書館案内図　2階



○ 情報サービス施設

東大阪大学は同短期大学部及び東大阪大学敬愛高等学校、東大阪大学附属幼稚園での共通のキャンパスネットワークを構築しており、情報ネットワーク管理運営委員会で管理運営を行って

いる。
セキュリティの関係上、高等学校とはドメインを分けて運用し、かつ学生、教員、職員はセキュリティポリシーに基づいたアクセス権を所持している。

① ネットワーク
キャンパスネットワーク内のすべてのユーザに対してメールアカウントが発行される。
学生の学内持ち込みパソコンは、1号館、9 号館、8 号館、図書館及び学生寮では無線 LAN を利用することができる。
② サーバセキュリティ
サーバーについては、学内の業務用ファイルサーバーおよびドメインコントローラーを除きほぼすべてを外部に設置し、セキュリティも含めて委託することで効率化を図っている。
③ 情報教室と設置台数
833 情報処理演習室 (45 台) OS:Windows 11
④ 自習室
図書館 1 階に 4 台パソコンがあり、卒業論文、レポード課題等作成のために活用している。

○ 地域連携推進センター
本学では、地域社会との連携を促進するために、東大阪大学・東大阪大学短期大学部地域連携推進センターを設置しています。
このセンターは、東大阪市周辺地域の市民、企業、自治体などとの連携協力を維持・発展させ本学の特性を活かした社会貢献を行い、地域の要請に応えるとともに、地域連携の総合的発展に向けた取り組みを行うことを目的としていて、東大阪大学こども研究センター、東大阪大学・東大阪大学短期大学部異文化交流室、東大阪大学・東大阪大学短期大学部産官学地域連携室の業務を統括しています。

（1）こども研究センター
9 号館 2 階にこども研究センターがある。乳児用・幼児用保育室、観察室、子育て支援室（こども文庫)、事務室がある。保育用の備品や図書を用意し、学生や教員の教育研究活動に活用されている。

（2）異文化交流室
本学建学の精神に基づいて、地域社会に開かれた大学として、地域社会の異文化交流を推し進めています。
異文化研究、地域社会の国際交流を推進し、国際社会に貢献しうる人材を育成するための研究活動、実践教育研究活動、地域貢献研究活動、国際交流活動を通し地域社会のダイバーシティ（多様性）理解の推進に貢献することを目的として、次のような活動を行っています。

① 日本人学生と留学生の交流広場の提供
留学生と日本人学生の相互理解を深めるため、また留学生の本学に対する要望、意見を知り、今後の留学生支援のやり方を改善し、反映するために、年 2 回留学生、チューター及び教職員対象の意見交換会を実施しています。
② チューター制度

留学生が勉学及び日常生活においてより良い環境を創出するため、また留学生と日本人学生の相互理解・交流を促進するため、交流イベントを定期的に開催しています。

③　地域社会との文化交流及び国際交流活動

料理大会、弁論大会、フットサル大会の実施

東大阪市在住の外国人と本学学生の文化交流活動として「国際交流料理大会」「弁論大会」「異文化交流フットサルワールドカップ大会」を開催し、国際交流の場を提供しています。

④　その他異文化交流活動

海外研修の支援

国際性、異文化多様性を学ぶため、国際教養こども学科生対象の「国際教養こども学研修」、こども学部及び東大阪大学短期大学部生対象の「国際こども学研修」の支援をしています。《過去の研修先》中国、韓国、フィリピン共和国セブ島 、沖縄等

（3）産官学地域連携室

本学建学の精神に基づいて、地域に根差し、地域と繋がり貢献できる大学として、研究等の産官学連携活動を推し進めています。

産業界、官公庁及び地域社会等と協働し、本学の有する資源を活用した産官学連携を促進し、地域発展のために貢献することを目的として、次のような活動を行っています。

①　東大阪市大学連絡協議会

東大阪市と大学間の連携を深め発展を図ることを目的とする、東大阪市長並びに東大阪市内の大学をメンバーとした協議会に参加し、企画の提案などを行っています。

②　東大阪カレーパン会

ラグビーワールドカップに合わせて、東大阪市企画室と実践食物学科が企画し、「東大阪カレーパン会」の加盟店が実施した「東大阪カレーパンスタンプラリー」のキックオフイベントを令和元（2019）年 8 月 25 日開催の「村上学園フェスタ」で行いました。

③　ひがしおおさか体感まち博

東大阪市および一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構主催の東大阪市の令和元（2019）年度の観光プログラム「ひがしおおさか体感まち博」の一環として実践食物学科の実施した「未来の食糧難を救う話題の昆虫食を知ろう」と「東大阪産の材料でカラフルたこ焼きづくり！」をサポートしました。

○　国際交流センター

現在、11 か国 253 名の外国人留学生が在籍している。

グローバル社会に開かれた大学として、日本の風土・文化・社会理解の指導ならび留学生の学修支援・生活支援そして適正な在留管理を業務としている。

4 号館 3 階の国際交流センターは、日本語テキスト・中国語や英語などの小説やマンガ本、比較文化論や異文化研究の書籍を配架している。また、就職コーナーやパソコンを設置。学生が自由に利用できるようにしている。留学生が昼食に集う場として、電子レンジ・ポットも完備している。宗教的配慮として、祈祷所を設けている。

（1）学生生活支援体制

在留期間更新の代理申請や出入国関連の対応、学習奨励費(奨学金)募集等を主業務としている。現在、中国・ベトナム人職員２名を配置し、受入教育機関として安心で充実した留学生活づくりに取り組んでいる。

『留学生ハンドブック』など留学生への発信情報は、スマートフォンからみることができる。ライン等により国際交流センターと「つながっている」連絡網を構築している。

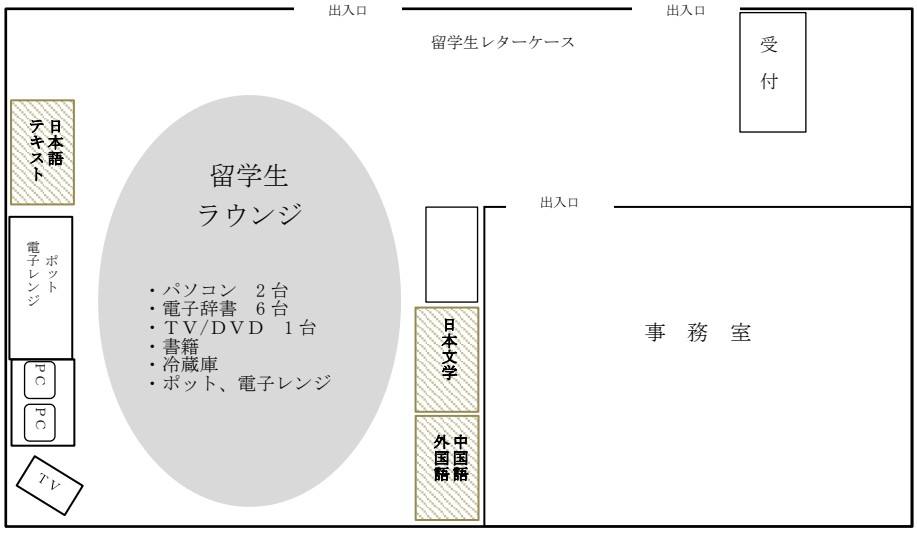
（２）日本での就職へキャリア支援を強化

学科、キャリアサポートセンターと連携し、「就職ガイダンス」を実施している。2025 年度卒業の留学生 89 名の内、日本での進学・就職を希望した 86 名は全員が希望を達成している。

（３）留学生への危機管理

留学生の健康で安全な留学生活の確認のため、月次の在籍確認と面談を実施している。
又、テロ・災害への安否確認として、出国時には海外渡航届出を義務付け、渡航先ならび緊急連絡先、帰国確認を行い学生支援部・アドバイザーとの情報共有をおこなっている。

【国際交流センター配置・設備図】



○　学生寮

遠隔地から入学する学生のために学生寮「桃風寮（とうふうりょう)」(女子寮）を設置している。学生寮は、本学キャンパス内に設置されており、遠距離からの学生に、低廉で便利な居住空間を提供している。建物は、4 階建てで 53 室を有しており、各部屋は基本 2 人部屋とし、3 名の寮監と東大阪大学敬愛高等学校の教員が交代で管理運営をしている。令和 8 年(2026)年 5 月 1 日現在、大学生 1 名、短期大学部生 1 名が入寮している。寮内では無線 LAN が利用できる環境となっている。

現在、2 階、3 階、4 階は、本学園併設校である東大阪大学敬愛高等学校の留学生、クラブ生徒も使用している。

学生寮『桃風寮』概要

■ 昭和53年築／鉄筋コンクリート造4階建て

■ 部屋タイプ：2人部屋

お風呂・トイレ・キッチンは共同

入寮費　120,000 円　　＜入寮時＞

＜1 年次＞

寮費　　500,000 円（年額）　　前後期分納

＜2 年次以降＞

寮費　　600,000 円（年額）　　前後期分納

※共益費・冷暖房費、朝夕の食費、wifi 使用料を含んでいます。